

## 平成30年12月定例会一般質問

No. 1		
2 番	本 田 忠 良 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 庁舎及び図書館建設について	<p>1) 当初、庁舎と図書館を同時に建設する予定でしたが、庁舎建設後、図書館ということになりました。今後の図書館建設に関しては、どのように考えているのかお尋ねします。</p> <p>2) 庁舎建設にあたっては、議会、町内各種建設業団体、商工会、町民の皆様の意見として、発注を町内業者へという声が多く出ている中で、町としてどのように考えているのかお尋ねします。</p> <p>3) 昨年、南会津町（旧田島町、館岩村、伊南村、南郷村）が20億円で庁舎を建設しました。ほとんどを地元業者に発注したと聞いていますが、どのような方法をとったのかお尋ねします。</p>	
2 置き勉強道具（置き勉）について	<p>1) 平成23年以降、「脱ゆとり教育」への方向転換がなされた中で、教科書が大きくなるとともにページ数も増え、通学時のランドセル、鞆の重たさが、児童の発育や健康に影響を及ぼしているといった調査結果が報告されています。現在、三春町内の小学生、中学生の通学時における鞆の重さは、どのくらいあるのか（特に新入生）お尋ねします。</p> <p>2) 三春町内、小学校、中学校においては、置き勉は許されているのかお尋ねします。</p> <p>3) 重い教材が原因で、肩や背中の痛み、腰痛を訴えている児童もいると聞きますが、児童の保護者からそのような話はないのでしょうか。また、近々文科省より通学時の軽減を図るべき旨の通知があると聞いていますが、教育委員会として、その前に対応を検討しておくべきと思いますが、考えをお尋ねします。</p>	

## 平成30年12月定例会一般質問

No.2		
5 番	山 崎 ふじ子 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 町の体育施設の利用状況について	1) 三春町体育協会加盟団体数と登録者は何名か。 2) 協会への補助金はいくらか。また、町体育施設の利用料金の補助があるのか。 3) 中学校再編の後、桜中学校・要田中学校の体育館・グラウンドの利用はどのようになっているのか。 4) 町の運動施設の維持管理費は年間いくらの支出か。また、利用者からの使用料収入は、年間でいくらになるのか。 5) 町の体育施設について、三春町体育協会に登録している団体には、使用料の免除を行うことはできないのか。	
2 学校体育館へのエアコンの設置について	学校教育のなかで、子供たちが適度な環境で授業を受けられるようにすることは当たり前のことと考える。国は、「ブロック塀・冷房設備対応臨時特別交付金」を今年度限りで設置した。これを利用して、町の小中学校体育館にエアコンを設置できないか。	

## 平成30年12月定例会一般質問

No.3		
8 番	渡 辺 正 久 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 農用地の荒廃防止について	<p>現在我が町においても、農業従事者の減少、高齢化に伴い、各農家、農地の維持、管理が困難になりつつあり、荒廃の拡大を防ぐ策を見出すことが、行政においても大きな課題となってきたと思います。</p> <p>1) 耕作放棄地の現状と農用地転用数の現況及び農振農用地の見直しの現状をお尋ねします。</p> <p>2) 耕作放棄地の増加を防ぐため、どのような対策を取っているのかお尋ねします。</p>	
2 旧三春中学校テニスコート・プールの管理について	<p>1) 現在どのように管理されているのかお尋ねします。</p> <p>2) 今後活用する計画や案があるのかお尋ねします。</p>	

## 平成30年12月定例会一般質問

No.4		
3番	陰山丈夫 議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 郡山連携中枢都市圏（通称：こおりやま広域圏）の取り組みについて	<p>政府は人口減少時代の自治体行政の検討に着手し、2040年ごろに自治体職員は今の半数になり、都道府県、市町村制は現行のままでは立ち行かないとして、複数市町村による「圏域」を実質的な「第3の自治体」と位置づけ、都道府県の役割の見直しや行政を補う「共助」の制度化も探るとしている。</p> <p>人口減少と40年ごろにピークを迎える高齢化への対策を検討してきた総務省の有識者会議「自治体戦略2040構想研究会」が2次にわたる報告をまとめたものを受け、首相の諮問機関、第32次地方制度調査会で、7月から制度設計の議論が始まった。</p> <p>2040年ごろには団塊ジュニア世代が65歳以上になる一方、中核になる20歳代前半はその半数になる。現在の半分の職員で行政サービスを維持する方策として打ち出したのが、圏域行政の標準化と都道府県による市町村の補完の強化である。過日、町より郡山市を中心とする「15市町村」で「郡山連携中枢都市圏」を設置したいと報告があった。</p> <p>こおりやま広域圏連携事業一覧には、58事業が記載されている。町は58事業のうち、現在、積極的に取り組もうとしている事業はあるのか伺います。</p>	
2 ヘリコバクター・ピロリ（通称：ピロリ菌）の無料検査と除菌について	<p>平成29年度人口動態統計のなかの死亡原因を見ますと、1位に悪性新生物、すなわち癌であり、男性31.9%、女性23.5%となっています。ピロリ菌は胃癌だけでなく、慢性胃炎、胃潰瘍や十二指腸潰瘍を引き起こすことも分かっています。</p> <p>中学2年になると、治療可能な年齢となりますので、ピロリ菌の検査を実施し、感染が判明した人は除菌薬で除菌することによって、胃がんの発症リスクを抑えることができます。</p> <p>町が全額負担で、ピロリ菌の検査及び除菌を実施する考えがあるのかないのか、お伺いします。</p>	

## 平成30年12月定例会一般質問

No. 5		備 考
1 番	新 田 信 二 議員	
質問事項	質 問 要 旨	
1 冬季期間における火災防止対策について	<p>先月の21日に、小野町で木造2階建ての住宅一棟、倉庫一棟を全焼する大火災が発生しました。その火災で、3才、4才、6才、8才の幼い子供を含む7人の尊い命が奪われてしまいました。</p> <p>平成になって、県内での火災では最多の犠牲者となっています。</p> <p>今回の小野町の火災を教訓に、町としての今後の対策を伺います。</p>	
2 田村広域行政組合一般廃棄物処理基本計画について	<p>平成29年11月に国、県に対して、田村地域循環型社会形成推進地域計画においては、田村東部環境センターを基幹改良し、既存の東西2施設を田村東部環境センターへ集約化する計画で、現在進められています。</p> <p>このことについて、町の考えをお伺いします。</p>	

## 平成30年12月定例会一般質問

No.6		
4 番	松 村 妙 子 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 児童虐待について	<p>福島県内の児童虐待対応件数推移を見ますと、平成27年度から平成28年度にかけ急激に増加しています。平成29年度は221件増えています。三春町の現状についてお尋ねします。</p>	
2 空き家対策について	<p>1) 空き家実態調査結果の概要についてお尋ねします。 2) 特定空家と認定された件数についてお尋ねします。 3) 空き家の活用に向けた空き家バンクの現状についてお尋ねします。</p>	

平成30年12月定例会一般質問

No. 7		
14番	日下部 三枝 議員	備考
質問事項	質問要旨	
<p>1 自衛消防隊や、消防計画をもつ町内企業団体との情報共有及び連携について</p>	<p>数か月前に、企業団体に組織する自衛消防隊の消防操法大会に行く機会がもてました。消防団の消防操法大会に応援に行くことはありましたが、その大会にも負けず劣らず力のこもった大会でした。</p> <p>三春からは8団体の出場でしたが、いずれもすばらしい操法を披露してくれました。</p> <p>今、我が町の消防団員数も少しずつ減少してきている中で、このようなしっかりした自衛消防隊をもつ企業団体、また、消防計画を立て実行している企業団体との情報共有や、できる範囲内での消防等の連携はとれているのでしょうか。また、とれていないのならば、これから考えていく必要があると思いますが、お伺いします。</p>	
<p>2 6月に質問した、高齢者世帯から町道までの、生活道路の除雪支援の仕組みづくりの進捗状況について</p>	<p>6月に質問しました、高齢者世帯から町道までの生活道路などへの除雪支援の仕組みづくりについて、「今までの方法以外について、今後考えていかななくてはならないと思う。」との答弁がありましたが、考え始まったのでしょうか、状況をお伺いします。</p>	

## 平成30年12月定例会一般質問

No.8		
15番	影山初吉議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 県立高校17校を対象とした統合検討について	<p>改革案では、年度内に対象校を決め、2023年度までに、同一市町内か隣接する市町の学校で統廃合を進める方針となっています。</p> <p>田村地方には3校の県立高校がありますが、町はこの件について、分析、対策をとっているのか伺います。</p>	
2 町の将来を見据え、10年後生き残るための施策について	<p>10年後に我が町が生き残れるかどうか、多岐にわたり次のおり伺います。</p> <p>1) 小学校の再編について 平成29年度町内の出生数81名、その子供達が6年後7つの小学校へ入学します。 これでも再編は考えていないのですか。</p> <p>2) 工業団地及び住宅団地造成について 投資をしなければ雇用の場の確保、人口増、税収アップは見込めない。 対策として東部地区へ工業団地を、西部地区へは住宅団地造成に取り組む考えはあるのか。</p> <p>3) 火葬場建設について 町には火葬場がありません。10年後団塊の世代が80歳になります。ピーク時には、長期間にわたり待たされる心配があるため、火葬場建設を検討すべきではないのか。</p> <p>4) 幼保一元化と屋内遊び場整備について 幼保一元化を図りながら、屋内遊び場を含め旧三春中跡地と西部地区へ整備を早めるべきではないのか。</p> <p>5) ふるさと納税について ふるさと納税への対応は現在のままで良いのか、見直してはどうか。</p>	